

◆◆◆教材の概要◆◆◆

よし子は、雨の日にお土産袋を持って、母とおばあさんの家に向かう。バス停留所に行くと、先にいた人々が軒下で並んでいる。よし子はバスが来ると先に待っていた人々を無視して先頭に並ぼうとするが、母に強い力でうしろに引き戻される。結局、バスに乗ったときには席はふさがっていて、よし子は母に不満を向けようとする。しかし、黙って立っている母の毅然とした横顔を見ながら、次第に自分のしたことを考え始める。

◆◆◆教材の活用◆◆◆

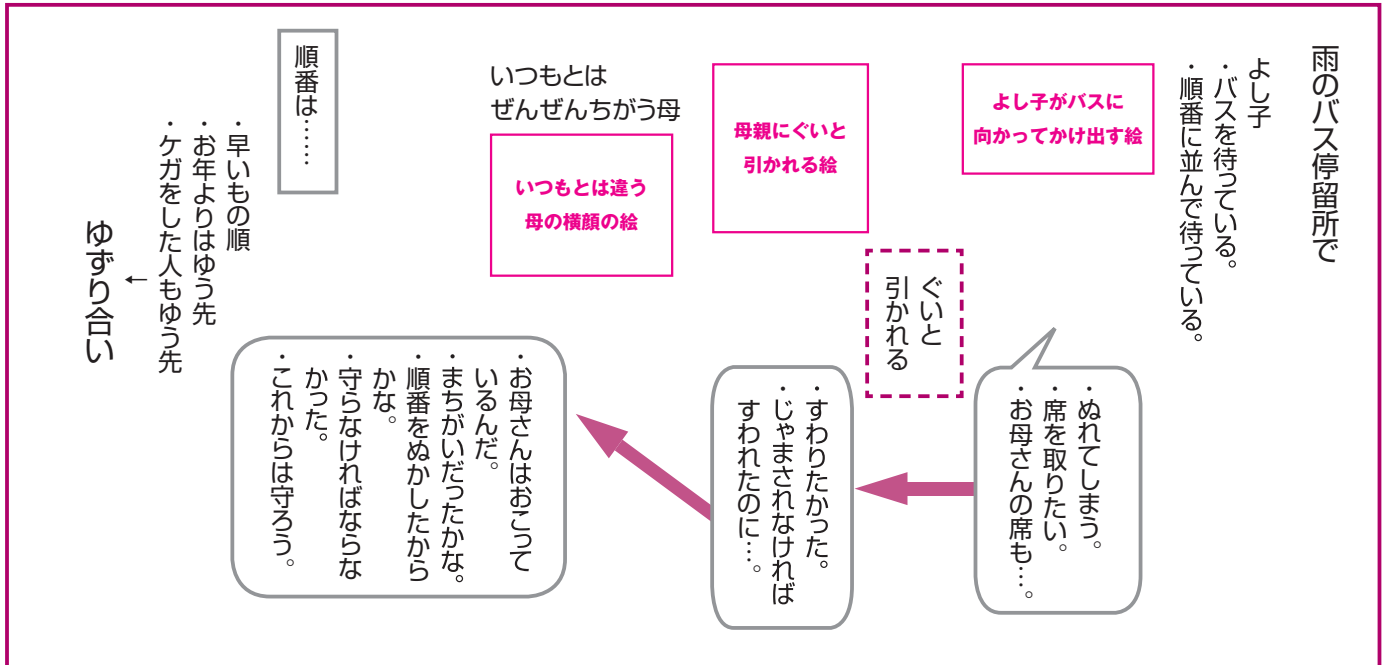
よし子は、いち早くバスに気付いて列の先頭に並べたことを、自分の機転と考えていた。この時点ではよし子は、引き戻した母の真意が理解できていない。だが、バスの中でいつもと違う母の顔を見ているうちに、改めて自分のしたことを振り返り、内省していく。

この教材を活用し、「早いもの順」という児童の視点からのきまりについて、違う視点から考えさせるとともに、他者への配慮や思いやりによって「きまり」を考えたり守ったりしようとする公德心をさらに高める授業を展開したい。

◆◆◆中心発問◆◆◆

お母さんの横顔を見ながら、よし子さんはどんなことを思っていたでしょう。

◆◆◆板書計画◆◆◆



◆◆◆道徳的価値“公德心”について◆◆◆

公德心は、社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にすることである。この公德を大切にすることが、一人一人の日常生活の中で具体的に生かされることで、住みよい社会が実現できる。

児童が成長することは、同時に社会や集団の様々な規範を身に付けていくことでもある。まず、約束やきまりを守ることができるようになることが必要である。その過程で公德心を養い、さらに、社会の法やきまりのもつ意義について考えとともにそれを遵守し、自他の権利を尊重し、義務を大切にすることを身に付けられるようになることが大切である。

## ◆◆◆学習指導案（本時のねらいと展開）◆◆◆

## 本時のねらい

バス停に先に並ぼうとしたとき、お母さんに連れ戻されて自分の行動を考え始める主人公を通して、約束や社会のきまりを守り、公德を大切にしようとする道徳的心情を豊かにする。

## 本時の展開

	学習活動	発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	・教材について知る。	<p>雨の日に困ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>傘がなくて濡れてしまった。</li> <li>遊べなかった。</li> </ul>	・児童の心を引きつけ、教材への導入を図る。
展開	・教材を読む。 ・教材の内容を確認する。	<p>①主人公の名前 ・よしこさん ②何をしているのかな。 ・バスを待っている。 ・順番に並んで待っている。 ・雨宿りしている。</p>	・挿絵を使いながら、教材の確認をする。
	・自分の行動を振り返って考えている主人公の心情を考える。	<p>よしこさんは、どう考えて停留所の一番先頭に並んだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早く乗らないとぬれてしまう。</li> <li>早くバスに乗らないと席が取れない。</li> <li>お母さんの席も取ってあげよう。</li> </ul>	・順番抜かしをした主人公の行動の批判にならないようにする。
	・教材を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材を確認する。</li> <li>①バスに一番に乗れるのかな。 ・乗れない。 ・お母さんに連れ戻される。</li> <li>②バスに乗るとどうでした。 ・席はなかった。 ・座れなかった。</li> </ul>	・挿絵を使いながら、教材の確認をする。
	・席を取れなかった主人公の心情に共感する。	<p>バスに乗って座れなかったとき、よしこさんはどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座れた人はいいな。</li> <li>わたしも座りたかったな。</li> <li>お母さんが邪魔しなかったら座れたのに。</li> </ul>	
・自分の行動を振り返って考えている主人公の心情を考える。	<p>お母さんの横顔を見ながら、よしこさんはどんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お母さんは怒っているんだ。</li> <li>わたしがしたことは間違いだったのかな。</li> <li>順番を守らなくてはいけなかった。</li> <li>順番を守ることは大切だから、これからは守るようにしよう。</li> </ul>	補助発問： 「なぜ順番を守ることが大切なのですか。」	
・順番について考える。	<p>順番って、どのようにして決まるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早いもの順に決まる。</li> <li>お年寄りやケガをした人は違う。</li> <li>絶対に早いもの順というわけではない。</li> <li>早いもの順だけど、譲り合いも必要だ。</li> </ul>	補助発問： 「お年寄りやケガをした人が来たときはどうですか。」	
終末	・本時の学習を振り返り出会った価値を深める。	<p>「私たちの道徳」の「阪神淡路大震災」の写真を掲示し、価値をさらに深めさせる。</p> <p>このとき、なぜこんなにきちんと並んでいられたのでしょうか。</p>	・阪神淡路大震災で給水車を並んで待っている写真を掲示する。

## 評価の視点（例）

- 約束や社会のきまりを守ることについて深く考え、その考えを順番の決め方を考える場面で発言したり、振り返りシートに記述したりしている。